

# ellipse

[エリプス]

## TOPICS

### Towards the next 140 years!

## お茶の水女子大学創立 140 周年記念事業

### お茶大発!原宿・表参道ガイドマップ

## 「地理×女子=新しいまちあるき」

教員×学生=新しい地理コンテンツの創出⇒発信

楕円(ellipse)には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心(焦点)となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を「エリプス」と名づけました。



ワ・タ・シ

深津千鶴 FUKATSU, Chizu イラストレーター  
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上にて「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。

## REPORT

### 夢のつばさ♥プロジェクトニュース

- ◆事業報告 助成金事業  
ワークショップ「ミツハタさんと考えてみよう、授乳期ママの社会参加スタイル」(講師 光畑 由佳 氏)
- ◆事業報告 共催講演会  
「みがかずば一学ぶ意欲のあるすべての人が輝き続けるために」(講師 鷹野 景子 氏)
- ◆事業報告 セミナー事業  
女性のための講座「もう一度お仕事しませんか?」

## INFORMATION

お茶の水女子大学イベント情報  
お茶の水ブックレット10  
「キャリア・デザインと子育て  
— 首都圏女性の調査から」刊行  
事務局よりお知らせ



特定非営利活動法人  
お茶の水学術事業会

# Towards the next 140 years!

# お茶の水女子大学創立 140 周年記念事業

お茶の水女子大学の歴史は、1875年11月29日、官立の女性のための高等教育機関として「東京女子師範学校」が御茶ノ水の地に開学したことに始まります。創立140周年を迎えた2015年は、「本学が歩んできた道を振り返り、さらにこれからの140年に向けて、新たな将来像を描く機会」(室伏きみ子学長)と位置づけられ、歴史資料館の記念展示、記念イベント、記念冊子の編纂を柱とする記念事業が行われました。



## 1. 歴史資料館の記念展示

大学本館にあるお茶の水女子大学歴史資料館では、2015年1月5日～16日に「創立百四十周年記念特別展」が開催されました。東京女子師範学校開学の経緯とその後の教育者・研究者輩出の歴史を振り返るとともに、大学憲章として「学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現される場として存在する」ことを掲げる現在の様子を紹介するこの展示は、その後、大学の入学式、徽音祭、11月28日・29日の創立140周年記念事業・式典の折にも特別公開されました。

さらにHP ([http://archives.cf.ocha.ac.jp/tenji\\_ocha140/](http://archives.cf.ocha.ac.jp/tenji_ocha140/)) には「創立140周年記念SNS企画」として「お茶大豆知識」(Facebook)「お茶大クイズ」(Twitter)もあり、気軽に情報をキャッチすることができます。

もう一つ忘れてはならないのが、歴史資料館とMuSA (Museum Student Assistant) のイ

メージキャラクター“ちせちゃん”です。この特別展のために誕生したちせちゃんは、創立140周年記念事業を親しみやすい雰囲気にするのに一役買い、学内ではすっかりおなじみになりました。

The collage features a brochure titled '女子高等教育の歩み' (The Journey of Women's Higher Education) with sections on '女子高等教育の歩み' and '戦後の歩み' (The Journey After the War). It also includes a poster for the '創立140周年記念特別展' (140th Anniversary Commemorative Special Exhibition) held from January 5 to 16, 2015, at the Ochanomizu University Museum. The poster lists the exhibition's theme, dates, and location. A character named 'ちせちゃん' (Chisechan) is also featured, representing the university's spirit.



表1：創立140周年記念イベント

開催日時	イベント名	主催
8月4日 14:00～16:00	公開講演会「犬婿から小熊へ 本という不思議な動物」 講師：多和田葉子氏	グローバルリーダーシップ研究所
10月12日 13:00～18:00	国際シンポジウム「女性のリーダーシップと政治参画 ～グローバルな視点から～」	ジェンダー研究所
11月14日 13:30～16:00	国際シンポジウム「はたして日本研究にとってジェンダー概念は 有効なのか? ～人類学の視座から改めて問う～」	ジェンダー研究所
12月1日 18:10～20:50	国際シンポジウム「ジェンダーで見る新自由主義・政策・労働 ～社会的再生産はいかに行われるのか?～」	ジェンダー研究所
12月19日 13:00～16:00	グローバルリーダーシップ研究所キックオフシンポジウム 「リーダーシップ教育の現状とこれから ～育て!グローバル女性リーダー～」	グローバルリーダーシップ研究所

## 2. 記念イベント

2015 年は年間を通して、創立 140 周年記念イベント（表 1）が行われ、創立記念日である 11 月 29 日には記念式典（表 3）が、その前日の 11 月 28 日には記念事業（表 2）が挙行されました。

「次の 140 年へ!!」というスローガンのもと、様々な立場の大学関係者が一丸となって開催した記念事業・式典は、名誉教授の外山滋比古氏、本田和子氏（元学長）、日本科学未来館館長 毛利衛氏のご講演、教職員による大学の歴史と記念冊子の紹介、学生によるパネルディスカッションや音楽と舞踊のパフォーマンスなど、盛りだくさんの内容となりました。当日は卒業生も多数出席し、様々な世代が徽音堂に会して、共に創立 140 周年を祝い、楽しいひと時を過ごしました。

記念式典では、室伏学長が「このキャンパスに集う全ての人々が、それぞれの夢を実現し、豊かな未来を創造することができるよう、また、周囲の人々に未来への希望と勇気を呼び起こす活躍をして下さることを心から願って、学問・研究の進展と国際社会の発展のために、教育・研究機関としての役割を果たして参りたいと思っております」と述べられましたが、まさにその第一歩にふさわしい二日間となりました。

表 2：創立 140 周年記念事業

<p>11月28日(土) 会場：徽音堂</p> <p>【午前の部】 10:30～12:00</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開会挨拶(室伏学長)</li> <li>○ お茶大の歴史を振り返る</li> <li>○ 法人化後 10 年記念冊子(配布資料)の紹介</li> <li>○ 特別講演「未来をひらく」 外山滋比古氏(本学名誉教授)</li> <li>○ 学生によるミニパネルディスカッション 「次世代の研究者をめざして」</li> </ul> <p>【午後の部】 13:30～16:00</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特別記念講義「Challenging the Unknown」 毛利衛氏(本学経営協議会委員、日本科学未来館館長)</li> <li>○ 音楽と舞踊によるパフォーマンス</li> </ul>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

表 3：創立 140 周年記念式典

<p>11月29日(日) 10:30～12:30</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学長式辞</li> <li>○ 来賓祝辞</li> <li>○ 名誉博士号授与式(遠山敦子氏、中谷陽一氏、Marie-Claire LETT 氏)</li> <li>○ 名誉学友記・感謝状贈呈</li> <li>○ 特別講演「140 年のあゆみを振り返る」 本田和子氏(本学元学長、名誉教授)</li> </ul>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



※ 創立 140 周年記念事業・式典当日の様子、学長挨拶、文部科学大臣祝辞、動画「ちせちゃん・しほりちゃんの解説! お茶大前史」は、以下の Web サイトにてご覧いただけます。  
[http://www.ocha.ac.jp/news/h27\\_140th.html](http://www.ocha.ac.jp/news/h27_140th.html)

## 3. 記念冊子『お茶の水女子大学法人化 10 年の歩み—創立 140 周年記念—』

2004 年に国立大学は法人化されましたが、創立 140 周年を迎えるにあたり、お茶の水女子大学の国立大学法人化後 10 年間の記録が冊子にまとめられました。

2014 年春から 1 年半余りをかけて編纂され、11 月 28 日・29 日の記念事業・式典で配布された『お茶の水女子大学法人化 10 年の歩み—創立 140 周年記念—』(お茶の水女子大学法人化 10 年記念冊子編集委員会 編)は 185 ページに及び、「第 I 部 法人化後 10 年の歩み」「第 II 部 教育・研究」「第 III 部 各部署等」の三部から構成されています。第 III 部にはお茶の水学術事業会も掲載され、平野由紀子理事長が編集委員会からの依頼を受けて寄稿しました。その全文をここに紹介します。

### 第 III 部 各部署等 第 7 章 同窓会・後援会・学術事業会 3 学術事業会

お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子

#### (1) 発足と背景

2004 年からの法人化とそれに伴う交付金の減少に備え、財政的基盤の支援をどのようにして確保するか、各国立大学が懸念だった中、同窓会の規模も小さい本学は、財団法人や社団法人ではなく、NPO 法人を作る道を選んだ。これは特定非営利活動促進法(1998 年 12 月施行)にもとづくもので、多くの非営利活動の中から選出された特定分野 10 領域に該

当する活動に対して認定される。そこで、①社会教育の推進 ②男女共同参画社会の形成の促進 ③子どもの健全育成、これらの活動を目的として申請し、2002年12月、「お茶の水学術事業会」（以下、事業会と略称する）は認可され、今年で12年になる。

現在は一般会員と終身会員および法人会員があり、前者二つはそれぞれ議決権の有無によって正会員と賛助会員に分かれる。会費は法人会員は年一口3万円だが、それ以外は一口年6千円であり、月500円という小さくとも息長い支援をするというワンコインダラーの寄附精神にもとづく。終身会員は70歳以上の方が対象で入会時に5万円一括払いである。

## (2) 具体的な活動

「女性のための起業セミナー」「教育と平和 アフガニスタン女子教育支援シンポジウムから」「子育てに『もう遅い』はありません」「イクメンが日本を変える」「明治から昭和に生きた女性作家たち」といったセミナーや講演は、学内だけでなく、地方自治体との共催もあり、学内の研究者を講師として紹介する、その内容を分かりやすい冊子にする、など、先の①②③の目的に沿った活動をしている。年三回発行の会報 ellipse は、これらの活動や大学のイベント情報も掲載し、大学の様子がとてもよくわかる、と好評である。2014年で36号となる。そのほか菓子お茶大ゴーフル、絵葉書、クリアファイル（幼稚園から大学までの各校章入り）、などオリジナル商品の企画販売もする。

また、学会事務を有償で引き受け、文系・理系にかかわらず、名簿管理・学会開催準備・機関誌編集など学会の運営を支援、また、関根賞・竹村和子フェミニズム基金・湯浅年子賞の運営補助を行なっている。

通常活動は、主として卒業生のパートタイム有償ボランティアで行なっている。社会のさまざまな側面に直接接触し、相互に交流し、いきいきと働く、かけがえのない場でもある。理事には大学および附属学校園の同窓会の役員や卒業生が無償で奉仕している。

## (3) 事業会と大学

ところで、大学が法人化した2004年12月に後援会が発足した。これは任期最終年の本田和子学長が会長となり、在学生の保証人、教職員、卒業生が財政面から大学を支援する組織であった。この時、前年に発足していた事業会の正会員のうち教職員を後援会へ移すこと、その代り、後援会から事業会へ毎年補助する、ということが決められた。

事業会は発足わずか2年で、収入は会費を主として2003年度2000万円、2004年度2600万円（うち1000万円は終身会費による）となっていたが、ここにおいて、当会員の教

職員は後援会に移り、卒業生も移ることが勧められた。

寄附を求められる側にとっては、卒業生をはじめ、寄附先が事業会と後援会の二つになる違和感が生じた。会員各自に、事業会にとどまるか、後援会に移るかの意志を問い、二つの組織が並立することになった。事業会は組織縮小を余儀なくされたが、近年大学後援会からの補助については、当初理解した関係が変質したとの感も拭えない。

この十年、特筆すべきは、食育が重視される中、附属小学校の給食室の不備が指摘された時、改造費用の一部として、2008年7月3000万円の寄附を大学に対して行なったことである。翌年、新制60周年記念式典において、大学より事業会に感謝状が贈られた。

また、2011年6月に事業会の一部門に組み込んだ「夢のつばさプロジェクト」や、2012年3月に始まった附属図書館の「E-book サービス」についても述べたいが、紙幅がない。前者は東日本大震災で保護者を亡くした子どもたちへの長期的見守りを目的とし、学生ボランティアや他の多くの団体との連携を特色とする。後者は希望者と業者の支払い授受の仲立ちを、事業会が担うことによって、オンデマンドの印刷製本が可能になったものである。

以上のような大学と社会の双方に関わるNPOの活動は、他に例を見ないものであり、事業会は本学の社会貢献事業の一翼を担う団体としても、今後大きな可能性が期待されるのである。

（『お茶の水女子大学法人化10年の歩み—創立140周年記念—』P168-P169）



※ 140周年記念冊子の全文は、以下のWebサイトにご覧いただけます。

<http://hdl.handle.net/10083/58146>

※ ご希望があれば冊子をお送りすることもできます。以下にお問合せください。

お茶の水女子大学図書・情報課 情報基盤担当  
E-mail: shiry@cc.ocha.ac.jp  
TEL: 03-5978-5567 (月～金 10時～17時)

## お茶大発!原宿・表参道ガイドマップ 「地理×女子=新しいまちあるき」 教員×学生=新しい地理コンテンツの創出⇒発信

2016年2月25日、お茶の水女子大学の学生達が作成したガイドブック「地理×女子=新しいまちあるき」(お茶の水女子大学ガイドブック編集委員会編、月刊「地理」3月増刊号、古今書院、定価:1,600円(税込))が発売されます。お茶の水女子大学の長谷川直子先生(基幹研究院准教授)と横山俊一先生(サイエンス&エデュケーションセンター研究員)が監修をし、「地誌的視点を取り入れた旅行ガイド」をテーマとした授業の受講生と聴講生18名が執筆しました。

大学での授業の成果物が一般向けの本として市販されるのは、あまり例がないことですが、「地域を総合的に見て地域の特徴を明らかにする地理学の視点を一般の人たちにもっと広めたい」という両先生の強い思いと、その思いに共感したお茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所の予算的なサポートにより実現しました(本誌はお茶の水女子大学グローバル女性リーダー育成に係る教育研究プロジェクト「4学期制アクティブラーニング成果としての旅行ガイドブックの出版を通じたアウトリーチの実践研究」の助成を受けています)。

お茶の水女子大学憲章に掲げる「社会との間で望ましい知の循環を実現することによって、社会的使命を果たしていく」ことは、このような形でも実践されています。

### ▶ 監修の長谷川先生・横山先生より

#### なぜガイドブック?

最近ターゲットと掲載記事を絞った「ことりっぷ」のようなセレクトショップ的な旅行ガイドブックがヒットしていますが、その内容はスポットの羅列にとどまることが多く、そのスポットの背景やスポット間の関連性などは省略されることがほとんどです。しかしその省略された部分を知ることで旅行自体が深みのあるものになると地理の人は考えます。そこで、そのような地理的な視点を取り入れた旅行ガイドブックを一般の人向けに作成できないか?と考え、文部科学省に予算を申請し、「地誌的視点を取り入れた旅行ガイドブック」に関する研究を平成26年度から開始しました。

#### なぜ学生?

お茶大の学生達は「ことりっぷ」的な目線や感覚を持ちつつ、地理的な(地域の特徴を理解する)能力を持っているので、その部分をうまく融合できないかと考えました。全8週間の



授業のうち本誌の骨子となるガイドマップにかけられた時間は約1週間と限られましたが、出版が決まってから、1冊の雑誌として読み応えのある内容にするため、プラスアルファの執筆作業を全学生がこなしました。雑誌の作成にあたっては、本文だけでなく表紙から全体のレイアウト、中の細かなデザインまで、ほとんどを学生有志(編集委員会メンバー)が手がけ、楽しみながら作成しました。そういった学生ならではのデザイン性・感性・遊び感も、アウトリーチとして有効ではないかと感じています。

### 今後の展望

今回は表参道・原宿・青山・千駄ヶ谷地域を対象にしましたが、毎年エリアを変えて継続していく予定です。そして最終的には、地理学を学んだ立場から一般社会に様々な地理コンテンツを発信していくジオグラフィー・コミュニケーターを育成したいと考えています。

※ 購入のご希望は古今書院(E-mail:order@kokon.co.jp TEL:03-3291-2757)まで。

※ Amazonでも取り扱っています!(<http://www.amazon.co.jp/dp/B019SWCI78> 予約注文もできます)

#### 【主な内容】

##### その1 地理女子ガイドマップ実践例

アートを巡る  
ファッション 癒しを求める  
文化 サブカルを感じる  
歴史をたどる  
視点 観点 交叉点を楽しむ

##### その2 地理女子による地理解説

地理女子学生による、表参道 原宿界限地理案内  
地理女子8週間の奮闘記  
洒落っ気を捨てよ、野へ出よう  
座談会 地理女子によるゆるトーク  
仏文女子からみた地理女子

##### その3 地理女子によるガイドマップ解説とガイド変身記

学生ガイド変身記  
旅行ガイドブック編集者から見た学生マップ  
学生によるガイドマップ作成の課題

##### その4 原宿 表参道ちょっとまじめななんでもガイド

観光地としての原宿 表参道の魅力:初上陸スイーツの立地からガイドに役立つ地図情報のいま  
一九八〇年代の「裏原宿」文化地理学的回想  
原宿 表参道の地形の生い立ち  
昨今の「まちあるきマップ」について  
「情報提供」と「広告」の違い:ガイドブックの歴史から考える  
原宿 表参道の歴史の変遷  
修学旅行で歩く原宿 表参道





# お茶の水女子大学 イベント情報

2016年2月以降に開催される各種イベントのお知らせです。詳細は、各主催者にお問い合わせください。

期日	イベント・講座名	参加費	備考
2016年 2月10日(水) 13:20～14:50	平成27年度大学院専攻 「探究力・活用力養成型 教師教育プログラム」 履修大学院生による年度報告会	無料	【会場】お茶の水女子大学本館1階113室(第二会議室) 【主催】学校教育研究部 【詳細】学校教育研究部ホームページ <a href="http://www.cf.ocha.ac.jp/sesd/index.html">http://www.cf.ocha.ac.jp/sesd/index.html</a> 【問合せ】学校教育研究部(安藤) E-mail: ando.hisako@ocha.ac.jp Tel: 03-5978-5470(直通) 【申込み】不要
2016年 2月16日(火) 13:30～15:00	内田伸子氏講演会 「悩みを抱えた学生にどのように接したらよいか ～女性研究者を育てた心理学教員の経験からの提案～」	無料	【会場】お茶の水女子大学人間文化創成科学研究科棟 604室 【主催】平成26～28年度文部科学省科学技術人材育成 費補助事業 女性研究者研究活動支援事業(連携型) 【詳細】 <a href="http://www.w.cf.ocha.ac.jp/leader/renkei/">http://www.w.cf.ocha.ac.jp/leader/renkei/</a> 【問合せ】お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所 E-mail: frsp-info@cc.ocha.ac.jp 【申込み】 <a href="https://crdeg.cf.ocha.ac.jp/ocha2/Leadership/COUNSELLING20160216">https://crdeg.cf.ocha.ac.jp/ocha2/Leadership/COUNSELLING20160216</a>
2016年 2月18日(木) 2月19日(金) 両日とも 9:00～16:00	第78回 教育実際指導研究会 学びをひらく ～“てつがくすること”を始めた子どもと教師～ ●公開学習指導、学習指導についての話し合い ●教科別協議会(18日)、課題別協議会(19日) ●講演 佐藤学先生(学習院大学教授)(18日) 森田伸子先生(日本女子大学名誉教授)(19日)	一般 4000円 学生 2000円 (資料代を 含む)	【会場】お茶の水女子大学附属小学校 【主催】お茶の水女子大学附属小学校 NPO法人お茶の水児童教育研究会 【詳細】ホームページ参照( <a href="http://www.fs.ocha.ac.jp/">http://www.fs.ocha.ac.jp/</a> ) 【問合せ】Tel: 03-5978-5875 Fax: 03-5978-5872 【申込み】本校ホームページから受付専用ページにて事前 申込みを行って下さい(2月14日締め切り)
2016年 3月10日(木) 16:00～18:00	人間発達科学研究所GCOE後継部門主催シンポジウム 袖井孝子氏講演会 「高齢期における住まいと住まい方」 コメンテーター: 平岡一氏(お茶の水女子大学教授) 司会・進行: 菅原ますみ氏(お茶の水女子大学教授)	無料	【会場】お茶の水女子大学本館2階第一会議室 【主催】お茶の水女子大学人間発達科学研究所 【問合せ】人間発達科学研究所事務局 E-mail: ORC-HDE@cc.ocha.ac.jp 【申込み】お茶大Ploneにて事前申込み(当日参加可)

## ●本のご紹介

### 「お茶大子ども学ブックレット」

お茶の水女子大学 ECCELL(「乳幼児教育を基軸とした生涯学習モデルの構築」事業)は、平成22～27年度の6ヶ年計画で推進される、特別経費による教育研究プロジェクトで、乳幼児、学生、社会人が共に学び、自らの成長を探究する場の創造を目指しています。その活動の一環として、子ども学シンポジウム、お茶大保育フォーラム等を主催し、さらに学びの輪を広げるため、その記録をまとめたブックレットを作成し、希望者にお分けしています。



1冊: 500円(送料別)

ご希望の方は ECCELL 事務局までメールか FAX でご連絡ください。

ECCELL 事務局(ブックレット担当)

E-mail: nyuyoji-info@cc.ocha.ac.jp Tel & Fax: 03-5978-5949

VOL.	タイトル(講演者) など
1	子育て力の危機と創生～エンパワメントの視点から～ (牧野カツコ氏、星美和子氏) ※第1回お茶大 ECCELL 子ども学シンポジウム(2011.3.13)
2	今、子どもが育つ環境を考える I～『ナージャの村』 本橋監督をお迎えして～(本橋成一氏、小玉亮子氏、 榊原洋一氏) ※第2回お茶大 ECCELL 子ども学シンポジウム(2011.11.19)
3	絵本の挿絵について(黒井 健氏) ※第3回お茶大 ECCELL 子ども学シンポジウム(2012.6.23)
4	これからを生きる子どもたちへ～津守 眞氏からのメッ セージ～(津守 眞氏、高橋洋代氏) ※第6回お茶大 ECCELL 子ども学シンポジウム(2012.10.13)
5	日本の保育現場における“遊び”の意味(榊原洋一氏、 河邊貴子氏) ※ ECCELL 主催第5回お茶大保育フォーラム(2014.6.29)
6	鼎談「子ども・戦争・歴史」(本田和子氏、宮澤康人氏、 山本秀行氏) ※第8回お茶大 ECCELL 子ども学シンポジウム(2014.11.21)
7	認定こども園の今とこれから(渡辺英則氏、無藤 隆氏) ※ ECCELL 主催第6回お茶大保育フォーラム(2015.3.15)

## 夢のつばさ♥プロジェクト

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的として、お茶の水学術事業会を中心としたNPO法人4団体によって進められている事業です。

### 2015年秋の交流会

- 【実施日】 2015年10月18日(日帰り)  
 【開催地】 仙台市：榴ヶ岡公園、仙台市青葉体育館ほか  
 【参加内訳】 小学生11名、中学生6名、大学生ボランティア26名、社会人ボランティア3名

夏・冬の宿泊キャンプに参加した子どもと心の交流を続けるために、春・秋に被災地で行う日帰り活動も5回を数えます。約2ヶ月ぶりの再会とあって、みなそれぞれ、様々なできごとを聞かせてくれました。大学1年生を中心に企画したチーム対抗「ケードロ」や「手つなぎおに」で思い切り走った後は、青葉体育館会議室でハロウインのランタンの工作を楽しみました。子どもの中から「今度は自分達で交流会イベントを企画したい」という声も出て、冬キャンプで計画を話し合う事になりました。子ども達の成長が見られた一日でした。

### 2015年冬のクリスマスキャンプ

- 【実施期間】 2015年12月23日～26日  
 【開催地】 (株)ブリヂストン保養所奥多摩園(青梅市)  
 【参加内訳】 小学生17名、中・高生8名、大学生ボランティア34名、社会人ボランティア/協力者13名(看護師を含む)

#### 【主な内容】

12月23日	開会式、アイスブレイク、食育講座
12月24日	朝の勉強会、トランプ大会、クリスマス会、音楽会
12月25日	朝の勉強会、写真立て作り、子どもミーティング
12月26日	閉会式、写真スライドショー

開会式で、「失敗しても大丈夫、いろいろな事に挑戦しよう」というテーマを発表し、「携帯電話や電子ゲームなど一人で遊ぶものは使わない」という夢のつばさのルールを掲げて冬キャンプを開始しました。夕食後には歯科医の先生が「口は何をするところ?」と題して、五感で食を楽しみ健康に生活しようというお話をしてくださいました。目をつぶり、鼻をつまんでフルーツグミを食べると、味の変化が全く分からない事を体験して、子ども達も興味津々でした。

2日目は、巨大トランプ大会で体を動かした後、ダンボールでクリスマスツリーを手作りし、中学生がカッターを使い、小さい子は折り紙や針金でオーナメントを作って飾りました。大きなツリーもみなで飾りつけ、クリスマスの用意を整えたところにサンタさんが登場。プレゼントをもらうのは、やはりとてもうれしそうです。夕食は心づくしのバイキングで、子ども達の好きなものが並びました。今回は風邪で熱を出す子も無く、みな食欲旺盛で、デザートケーキまでたくさん頂きました。音楽会ではバイオリンとアコーディオン(&ピアノ)のお二人がサンタガールの衣装で楽しいクリスマスソングを演奏してくださり、子ども達も大喜びでした。



輪になって歌おう



音楽会

3日目には写真立て作り。紙粘土で枠を縁取ったり、テープやビーズや紙をコラージュしたりデコパージュしたり、思い思いに飾り付けました。この写真立てに、キャンプで撮った写真を入れて閉会式にプレゼントしました。午後は折り紙をしたり、漫画を書いたりしながら子ども達といろいろ話をする自由時間をたっぷりとりました。秋の交流会でイベント企画作りを提案した子ども達は、この時間に子どもミーティングを開いて、次の春の行事について話し合いました。夢のつばさを本当に楽しみ、次はこんな事がしたいと話すようになってきた子ども達ですが、中学生になると学校の部活動で参加できなくなる事があります。休みをすべて拘束するほどの部活動はいかがなものかなと思いつつ、冬キャンプを終えました。



閉会式で奥多摩園の方に感謝

(夢のつばさ♥プロジェクト)

#### ご寄附のお願い

【口座】三井住友銀行 大塚支店(店番号227) 普通 1284200

【名称】特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子 ※ 夢のつばさプロジェクトの専用口座です。

ご寄附いただく際には、ご芳名、ご住所(連絡先)を下記までお知らせください。

※ 恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください。

連絡先：事務担当 滝澤公子 TEL&FAX：03-5978-5362 Email：tsubasa@npo-ochanomizu.org

## ◆ 事業報告 助成金事業

● 桜蔭会神奈川支部 ワークショップ

「ミツハタさんと考えてみよう、  
授乳期ママの社会参加スタイル」

講師 光畑 由佳 氏 (有限会社モーハウス代表)

【日時】 2015年9月26日(土) 10:00 ~ 12:30

【会場】 男女共同参画センター横浜 和室

【主催】 桜蔭会神奈川支部・男女共同参画センター横浜

【助成】 お茶の水学術事業会

【参加費】 無料

【参加人数】 9名



講話会場風景



グループ作業の様子

本事業は、公益財団法人 横浜市男女共同参画推進協会が、横浜市の男女共同参画行動計画に沿い、市民グループ、NPO との協働により、市民のニーズに合った事業を提供する目的で実施している「2015年度 公募型 男女共同参画事業」の募集に、桜蔭会神奈川支部が企画を応募、選考を経て採用され、男女共同参画センター横浜と協働で実施したものである。

## ワークショップの構成と参加者

開始にあたり、共同主催である男女共同参画センター横浜の樋口事業課長からのご挨拶の後、モーハウス代表 光畑由佳氏による、乳児を持つ女性の社会参加を考えるきっかけとなる講話、続いて、参加者が2グループに分かれて、子育て中の自分のやってみたい社会参加について意見交換し、各グループの代表者が、まとめを発表した。

参加者9名は、全員、乳児を持つ母親だった。

## 光畑由佳氏講話の要旨

18年前、第二子生後1ヶ月頃のこと。連れて出かけたが、中央線の車内で赤ん坊が泣き、車内で授乳せざるを得なかった。鉄道会社に授乳専用車を作ってくれと要望を出してもすぐにはかわらない。それならばと、当時日本にはなかった授乳服を自分で作ってしまった。これを着れば子連れでどこでも行ける。人生が変わった、子育ての苦労が楽しみに変わった瞬間だった。でも、作った授乳服は売れなかった。

ボランティアさんの協力やアイデアで、小さな公民館から始めた授乳ショーを続け、ミッドタウンで実施できるまでになり、全国紙でも記事にもらえるようになった。

「女性の子育てそのものがキャリアになる」と紹介されている。モーハウスという会社は、子育てしながら働き続けるために、保育所やベビーシッターではなく、子連れ出勤というスタイルで実現した。家事と子育ては両立できる、ならば仕事と子育ても両立できる。

今年8月末にあったWOW! Tokyo 2015 (女性が輝く社会に向けての国際シンポジウム) に参加したマリリン・ヒューソン氏 (ロッキード・マーティン CEO) の言葉を紹介する。女性が活躍するための三つの条件、「リーダーシップ」「参画」「環境」。いくらリーダーシップが動いても、それを待っているだけではなく自分たちも「参画」しないとだめだ。

我慢して当然という考え方を変えていく。

2014年、APECの女性フォーラム(北京)でスピーカーをつとめ、「Creating Alternatives (新たな選択肢を創る)」と題して、白か黒かでは面白くない、グレーがあつていいし、あるいは全くちがう黄色でもいい、という発想を紹介した。

こういう話を学生にすると、「大変だけどどうにかなりそうな気がしてきた」という人が多い。これでもかというように、子育ての大変な要素を探しているおかあさんがいるが、それはつまりは子育てが順調ということ。

## 参加者の印象、協働団体の評価

参加者アンケートでの満足度、男女共同参画センター横浜の事後総合評価ともに高かった。桜蔭会神奈川支部は、今回の他組織との協働実施で得られたノウハウを活かし、老若男女の活力ある社会参加を支援する活動を進めていきたい。

少人数制の企画に対し、ご理解と助成を賜りましたお茶の水学術事業会に、心から感謝申し上げます。

(桜蔭会神奈川支部 公益事業担当 長堀文子)

## ◆ 事業報告 共催講演会

## ● 桜蔭会石川支部

「みがかずば 一学ぶ意欲のあるすべての人が  
輝き続けるために」

講師 鷹野 景子 氏 (お茶の水女子大学教授、基幹研究院自然科学系長)

【日時】 2015年10月17日(土) 10:30～11:45

【会場】 石川県文教会館 401大会議室

【主催】 桜蔭会石川支部

【共催】 お茶の水学術事業会

【後援】 石川県健民運動推進本部/金沢市教育委員会/北國新聞社

【参加費】 無料

【参加人数】 65名



北陸新幹線の開業により東京までの時間的距離が大きく縮まり、お茶大が通学圏内に入ったように思えました。これを機会に桜蔭会石川支部では、お茶大の女子教育について高校生を始め県民の方々に広く知って頂きたいと講演会を企画しました。

講師の鷹野景子先生は、お茶大で学ばれた理系の研究者、教育者であり、前副学長としてお茶大の女子教育にも深く携わってこられました。ご自身の経験を踏まえてお話し下さいました。



講演に先立ち石川県の高校教育の状況を知りたいと、前日の16日、鷹野先生は金沢市内の高校3校を訪問されました。

講演会の当日は県下統一模試があり高校生の参加は望めないということが後になって分かりましたので、この訪問は石川の高校、生徒を知って頂く良い機会になりました。

訪問先の1校では女子高校生たちとの懇談がなされ、大学生生活や将来の進路について知りたいことや不安が次々出されました。鷹野先生は、お茶大の

- ・グローバル教育、そこでの外国語学修支援、留学制度
- ・キャリア教育における女性リーダー養成や就職支援
- ・学生生活を支える様々な奨学金制度

等々を挙げ、希望の進路へ向かってキャリアアップしていく上で数々のサポートを受けられることを具体例を示してお話しされ、生徒たちの安心をひきだしました。中には妹の為に話を聴きに来たという男子高校生もいてほほ笑ましく和やかな懇談となりました。



17日土曜日、講演会当日は素晴らしい秋晴れの日でした。

お茶大の使命「グローバル女性リーダーの育成」、法人化の際に宣言された「学ぶ意欲のあるすべての女性にとって真摯な夢の実現される場として存在する」を中心に、女性研究者支援

(COSMOS)の最近の取り組みである

1. 学内研究者支援…男女共同参画推進の視点からも男女を問わず本人及び配偶者の妊娠、出産、子育て、介護などの際には研究補助者を配置して研究の継続を図る。
2. 学内外女性研究者の研究継続・復帰支援…〈みがかずば研究員〉年令で制限すること無く研究内容、意欲で審査する。についてお話し下さいました。実際に研究員になられた方の感想も紹介されましたが、研究の場と身分を与えられ安定して研究が続けられる喜びが伝わってくるものでした。「学ぶ意欲のあるすべての女性のために」の具体例を伺い会場の方々は胸を熱くし勇気づけられました。



お茶大教育改革の柱「文理融合リベラルアーツ」「複数プログラム選択履修制度」……その他ここに書き切れない多くの取り組みについても話され、先生がご用意下さった、これらを紹介するチラシなどは、すべて来場者がお持ち帰りになりました。来場者ご自身、お子さんやお孫さんのために有効利用され、何年か後、石川支部の会員数がどれほどか増すでしょうか、楽しみです。



講演後の会場アンケートに、「お茶大の女子教育の充実と細やかなサポート制度を聴くにつれ、未だ未だ日本に於いては女性の教育、就業には支援が必要なのだと改めて考えさせられた」との声がありました。これは男女共同参画推進への取り組みが求められることを認識させる一方で、お茶大の女子教育の必要性を強く感じさせるものでもありました。

多くの方々のご協力で講演会を開催することが出来ました。改めて皆様に感謝申し上げます。

(桜蔭会石川支部 講演会実行委員長 田中直美)

◆ 事業報告 セミナー事業

# 女性のための講座 「もう一度お仕事をしませんか？」

- 【開催日時】 2015年9月24日、10月1日、8日、15日  
13:30～15:00 (最終日のみ 15:30)、全4回
- 【会場】 女性専用コ・ワーキングスペース Albo 3F セミナールーム
- 【受講料】 3,000円 (テキスト代を含む)
- 【主催】 お茶の水学術事業会
- 【共催】 株式会社 M2.F
- 【参加】 8名

【主な内容】

	内容	講師
1	「最新お仕事事情」 ★ コンピテンシー分析	白井 令子 氏 ポケットコンサルティング代表
2	「ロールモデルに学ぼう」	池田 範子 氏 (株)またたび企画代表 本田 朱佳 氏 (株)またたび企画
3	「プチ起業を知ろう」	鹿住 倫世 氏 専修大学教授
4	「自分の強みを知って方向性を考えよう」 ★ コンピテンシー分析 結果の返却と解説 ★ 各講師よりまとめ ★ 個別相談	白井 令子 氏 池田 範子 氏 鹿住 倫世 氏

お茶の水学術事業会は活動の一つに「経済活動における男女共同参画促進事業」を挙げており、「女性ベンチャー起業への助成事業」、「女性事業家・起業家育成のためのセミナー、シンポジウムの開催」、「女子学生等を対象とした就職セミナー等の開催」などを行います(定款第5条4)。

女性の力を活かして企業力を高めるとか経済成長を図ることが言われるようになって久しいものの、身近なところを見まわしてみると、いろいろな事情により一度仕事を離れた女性は、その後のITの進展や職場環境の変化などがブレーキとなって、再就職をためらうケースが多いようです。そこで、「もう一度仕事をしたい」と考えている女性が「はじめの一步」を踏み出すきっかけを作りたい、との思いから最近の職場事情や多様な働き方を学び、自分の強みやスキルを見つめ直す講座を企画しました。

講師には、キャリアコンサルタント、主婦から再就職あるいは起業をした方、中小企業経営および企業家活動の研究者、というバックグラウンドの異なる4人の女性をお迎えしました。



それぞれが、多くのデータや実例を挙げ、ご自身の体験も織り交ぜながら、最近の働き方の実態や必要とされるスキル、再就職・起業のメリットとデメリット等について、ストレートに語っていただきました。さらに、地域の創業支援センターやマザーズハローワークなどの相談窓口、再就職や起業を支援するセミナーやビジネスコンテスト、「笑顔で働きたいママのフェスタ」(イベント)、「やりたいことを仕事にしたい・している女子の会」(facebook) など、すぐに役立つ情報の紹介もたくさんあり、「思った以上に多岐にわたる分野のお話を聞いて大変勉強になりました」と好評でした。

全体を通して印象的だったのが、受講生の意欲的な姿勢です。最初のうちこそ緊張気味でしたが、講師の熱のこもったお話に呼応して、積極的に質問をしたり、席の近い方同士が和気藹々と情報交換をしたりする姿が見られるようになりました。また、コンピテンシー分析やワークショップを通して、自分は何に向いているのか、何ができそうか、今自分が持っている事業アイデアを実現するにはどんなことが必要なのかといったことについて考えを深めていかれたようです。最終日の個別相談では、それぞれがビジョンを持って、講師とお話をされているように見受けられました。受講後さっそく就職や起業に向けて動き始めた方もいらっしゃることで、とても嬉しく思っています。

今回の講座は、株式会社 M2.F (<http://www.m2firm.com/>) と共同開催し、同社の女性専用コ・ワーキングスペース Albo を会場として使用しました。「チャレンジ」「創造と貢献」を理念として、リフォーム事業、セミナー事業、シェアビジネス等を展開する M2.F が女性二人によって設立された会社であること、職場としても活用できるコ・ワーキングスペースを実際に見学できたことも、受講生には将来の姿をイメージするよい手掛かりになったことと思います。ご協力に心より御礼申し上げます。

## ◆ 出版事業

● お茶の水ブックレット 10

# 「キャリア・デザインと子育て — 首都圏女性の調査から」

石井クンツ昌子 監修

「子の発達段階に応じたキャリア・デザイン」研究会

坂本有芳 編著

本体価格：500 円

Coming Soon!!



お茶の水女子大学の活動や研究成果を、広く一般に公開することを目的として出版しているお茶の水ブックレットの最新刊が間もなく完成します。

今回は、「キャリア・デザインと子育て — 首都圏女性の調査から」と題して、「子の発達段階に応じたキャリア・デザイン」研究会の11人が、仕事と子育てに奮闘する女性20人へのインタビューと、中学生以下の子を持つ女性へのWebアンケート調査をもとに、書き下ろしました。研究会のメンバーはお茶の水女子大学生活科学部 石井研究室の修了生と現役の博士課程院生です。

様々な立場の女性たちが、自身のライフステージの中で仕事や子育てをどのように位置づけ、実践してきたのか。多くのエピソードやデータを紹介しつつ、そこから見えてくることを考察します。

## — 目次 —

はじめに (石井クンツ昌子)

序章 子の健やかな生活を保つ 新たな働きかたの確立を

第1節 出産・育児と女性の就業  
— 全国データにみる両立環境 (坂本有芳)第2節 本書のベースとなるデータ  
— 首都圏女性の子育てとキャリア (坂本有芳)

第1章 出産タイミングとキャリア 授かることを大切に

第1節 出産タイミングと子ども数  
— 仕事と年齢との狭間で (岡村利恵)第2節 出産の契機と価値観の変化  
— 案ずるより産むが易し (岩下好美)

第2章 子の成長段階と両立課題 子の生活を第一に

第1節 子の遅寝と母親の生活時間  
— 働く母の限界か (坂本有芳)第2節 仕事と家庭、両立の要とは  
— 足りない時間は何? (蟹江教子)第3節 子の成長とお手伝い  
— 子の生活力を鍛えるには (花形美緒)

第3章 働く母親の利用資源 あらゆるものを役立てて

第1節 日々の育児を支える資源  
— 親族と職場のサポート (劉楠)

第2節 家事における夫の分担と外部サービス利用

— 家事を楽にするには (藤田智子)

第3節 家庭科の有用性

— 学校で身につけたもの (佐野潤子)

第4章 長い目で見る女性のキャリア アップもダウンも

第1節 母親のキャリア意識を高めるもの  
— 子育てという制約の中で (大風 薫)第2節 女性自身の性別役割分業意識  
— 見えない壁を乗り越える (中川まり)第3節 子育てがもたらす転機と決断  
— ペースダウン、上を目指す (高丸理香)

おわりに (坂本有芳)



坂本有芳氏 (「子の発達段階に応じたキャリア・デザイン」研究会代表) より

本書は、これまで男性中心の発想で形作られてきた職業生活を女性の視点からとらえ直し、次の時代にふさわしいと考える形を自分たちが中心となって発信しようという思いで作ってきました。その思いは、各章にそれぞれのテーマに応じた具体的な提案として記されています。全体を通して込めた主張は、子どもが健やかに生まれ育つことを第一に守りたい、生活の基礎である家事育児の営みを工夫し男性も巻き込み楽しめるように、女性自身も職業上でもっと積極性を発揮していかなければ、というものです。

職業人生が長くなりつつある中で、トランジション (時期の移り変わり) を意識し、職業上で制約の多い子育て期をひとつの大切な転機として向き合い、その後の職業人生を充実させていくことが、キャリア・デザインと子育てとの理想的な関係といえそうです。とはいえ置かれる状況は多様であり、子育てと職業キャリアとの関係を個々人がどのように保つべきなのかについては、ひとつの正解があるわけではありません。本書が、これから子育てと職業キャリアの道を歩もうとしている方、様々なかたちで子育てや仕事にたずさわる方に、その人らしい歩みを支えるためのヒントや元気を与える存在になれば嬉しく思います。(「おわりに」より抜粋)

## お茶の水学術事業会事務局よりお知らせ

### ●平成28年度「共催・助成金」事業の受付について

〈受付期間〉2016年1月18日(月)～5月9日(月)

〈対象〉

1. 共催：参加予定人数50名以上の広く一般を対象とする講演会
2. 助成金：平成28年度中に実施される以下の活動
  - (1) 学術・調査・研究・教育等の活動
  - (2) 学術関連等の出版事業
  - (3) 国内及び海外におけるボランティア活動
  - (4) 国際協力研究・教育支援事業
  - (5) 保育及び子どもの健全育成のための活動

※詳細は、お茶の水学術事業会 HP の「共催・助成金」(<http://www.npo-ochanomizu.org/kyousai.html>)をご確認ください。

※お問合せ：お茶の水学術事業会事務局  
Email: [info@npo-ochanomizu.org](mailto:info@npo-ochanomizu.org)  
TEL: 03-5976-1478 (月～金 10時～16時)

### ●ご寄付の報告

お茶の水学術事業会にご支援をいただきました。  
金100万円 三輪 純子 様(昭和31年 児童学科卒)  
心より御礼申し上げます。

## 「お茶の水女子大学 E-bookサービス」のご案内

<http://www.lib.ocha.ac.jp/e-book/>



お茶の水女子大学の研究・教育成果としての著作を無料でPDF閲覧またはダウンロードできます。

### Book List

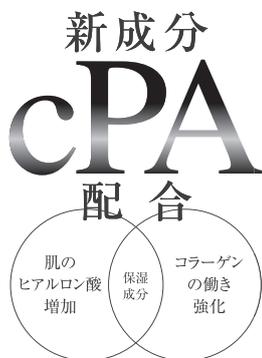
- ◆ **New!** フリップチャート教材『誘惑に負けない体重管理』(2016.2)  
新保みさ、赤松利恵 作
- ◆ 『王安石及び宋詩別裁 五言絶句訳注』(2015.3)  
盆詩の会(代表：和田英信) 著
- ◆ 『古今和歌六帖全注釈』※  
① 第一帖(2012.3) ② 第二帖(2014.6)  
古今和歌六帖輪読会(代表：平野由紀子) 著
- ◆ 『お茶大 Plone の使い方』1巻・2巻(2014.3)  
石田千晃、青砥早希、五島杏奈 作 / 横山美鶴 イラスト
- ◆ 『体重管理のためのカード教材「ベストアドバイザー FOR ダイエット」』(2014.1) 赤松利恵、新保みさ、玉浦有紀 作
- ◆ 『Java プログラミング入門』(2013.10) ※  
伊藤貴之 著
- ◆ 『近世日本の儒教思想—山崎闇斎学派を中心として』(2012.3) ※  
高島元洋 編著、大久保紀子、長野美香 著

※オンデマンド出版による製本版(有料)があります。ご希望の場合には、「オンデマンド出版」のボタンをクリックし、お茶の水学術事業会 HP 内「E-book ご注文フォーム」(<http://www.npo-ochanomizu.org/E-book/>)よりご注文ください(お申込みから納品まで1ヶ月程度かかります)。

## ライフサイエンスから生まれたスキンケア

細胞生物学の最先端研究の中で室伏教授が発見した新成分cPA(シーピーエー)は、あなたの体内のヒアルロン酸を増やして、本来あるべき良好な状態に導きます。雅GraceはcPAを配合した世界初のスキンケアです。

室伏きみ子(お茶の水女子大学長)監修



売り上げの一部は、  
大学へ寄附されます

雅Grace 定価(本体価格)

グレイス化粧水(150ml) 6,000円  
グレイス乳液(100ml) 7,000円  
グレイス美容液(30ml) 9,000円

※写真は、グレイス化粧水 150mLです。

美しく見える肌ではなく、ほんとうに美しい肌へ。  
雅Grace —グレイス—、誕生。

販売元: SANSHO株式会社 TEL: 03-5203-0716 WEB: <http://c-pa.jp/>

なお、お茶の水学術事業会で、特別価格でお取り扱いをしております。詳しくは、本会事務局まで お問い合わせください。

E-mail: [info@npo-ochanomizu.org](mailto:info@npo-ochanomizu.org) TEL & FAX: 03-5976-1478

## お茶大ゴフル 好評発売中!!



ご注文・お問合せは お茶の水学術事業会まで!

TEL&FAX 03-5976-1478

E-mail: [info@npo-ochanomizu.org](mailto:info@npo-ochanomizu.org)

- 本体価格 600円 \*消費税・送料が加算されます。
- \* 会員および大学・附属学校園の卒業生、教職員など、関係者の方には割引があります。
- 6袋(計12枚)入
- ばにら・ちょこ・いちご味



◆事務局所在地  
東京都文京区大塚2-1-1  
お茶の水女子大学  
理学部3号館204

◆交通機関

地下鉄 丸の内線  
茗荷谷駅から徒歩7分

地下鉄 有楽町線  
護国寺駅から徒歩8分

都バス  
大塚2丁目バス停すぐ

### 編集後記

休日に皇居で3歳ぐらいのお子さんと一緒にランニングを楽しむお母さんを見かけ「そんなことができるんだ」とびっくりしました。光畑氏の授乳服、地理学女子のガイドブックもまた然り。これまでの自分はやってみる前に「できるはずがない」と決めつけてきたことが案外多かったのかもしれない。ちょっともったいないことをしたな、と感じる今日この頃です。

### 広告募集

このページに広告を掲載しませんか? 次号は2016年6月に2500部発行予定です。会員の皆様はじめ全国の公共機関などに配布しています。広告料金は、1回につき20,000円。詳しくは下記までお問い合わせください。

### 事務局

**OPEN 月～金 10:00～16:00**  
〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学 理学部3号館 204  
TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail: [info@npo-ochanomizu.org](mailto:info@npo-ochanomizu.org)  
<http://www.npo-ochanomizu.org>

※会員の方は、お問合せの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。